

米軍基地における有機フッ素化合物（PFOS 等）
に関する要請

令和4年7月20日

神奈川県基地関係県市連絡協議会

外務大臣 林 芳正 殿

防衛大臣 岸 信夫 殿

神奈川県基地関係県市連絡協議会

会長 神奈川県知事 黒岩 祐治

副会長 横浜市長 山中 竹春

副会長 相模原市長 本村 賢太郎

藤沢市長 鈴木 恒夫

逗子市長 桐ヶ谷 覚

大和市長 大木 哲

海老名市長 内野 優

座間市長 佐藤 弥斗

綾瀬市長 古塩 政由

令和4年6月30日、防衛省から神奈川県に対し、米海軍横須賀基地内の排水処理場の排水から、有機フッ素化合物（PFOS等）が検出されたとの情報提供がありました。現時点ではPFOS等が検出された原因は不明ですが、基地の外に流出した可能性も否定できません。

当協議会では、これまでも、令和2年4月の沖縄県普天間飛行場での泡消火剤の漏出事故を受けて特別要請を実施するなど、県内の米軍基地におけるPFOS等に関する保管状況の公表、安全管理の徹底等を国に求めてきました。

しかし、PFOS等の保管状況の公表等がないまま、今般、県内基地の排水においてPFOS等が検出されたことは遺憾です。

つきましては、次の事項について、要請いたします。

- 1 横須賀基地を含む県内の全ての米軍基地におけるPFOS等を含む製品の保管・使用状況を公表するとともに、関係自治体に情報提供すること。
- 2 県内の全ての米軍基地において保管・使用しているPFOS等を含む製品については、代替品への交換を早急に完了するとともに、交換が終わるまでの間、漏出防止など安全対策に万全を期すこと。
- 3 県内の全ての米軍基地における環境に影響を及ぼす事故については、速やかに国として公表するとともに、関係自治体あてに情報提供すること。また、その後の対応状況等についても適時適切に情報提供を行うこと。
- 4 米海軍横須賀基地でのPFOS等の検出事案については、日米両国の責任において、早急な原因究明を行うとともに、適切な再発防止策をとること。

また、日米両国の責任において、米海軍横須賀基地周辺のPFOS等に関する影響調査を実施し、調査結果に応じて、汚染物質の除去等の必要な対策をとること。

更に、今後、自治体として立入り調査等が必要と判断した場合には、円滑な調査の実施等に全面的に協力すること。